ち

ちいさい・ちっちゃい【小さい・小っちゃい】 ❶小さい(人、体、歩幅、服、声、音、グループ、クラス、国、都市、町、建物、会社、店、家、庭、部屋、荷物、車、器械、辞書、花びら、実、形、粒、宝石、石、欠けら、体積、規模、傷、発作、穴、亀裂、字、数、値、度数、角度、範囲、差、スペース、シェア、額、伸び率、サイズ、単位、取引、出来高、利益、儲け、負担、力、地震、台風、流れ) ❷小さい(学年、年齢、年の子、子、兄、姉、妹、弟、順、方、金、釣り銭) ❸小さい(テーマ、計画、問題、存在、一歩、喜び、悩み、責任、功績、要因、寄与、隔たり、開き、違い、メリット、価値、効果、影響、反響、波紋、反応、変化、ずれ、被害、制約、意義、権限、役割、働き) ❹小さく(切る、切れる、砕く、ほぐす、ほぐれる、割る、割れる、裂く、裂ける、千切る、千切れる、分ける、分かれる、盛りつける、崩す、崩れる、丸める、丸まる、固める、固まる、畳む、絞る、圧縮する、縮める、縮まる、縮む、しぼむ、響く、揺れる、震える、身を震わせる、一礼する、うなずく、つぶやく、ため息をつく、かしこまる、扱う、新聞に載る、表現する、まとめる、まとまる) ❺(肝っ玉、器、人物、人間、度量、苦労、度合、公算、可能性、ばらつき、異同、消耗、話、スケール、心)が小さい ❻(マッチ箱の、芥子粒の、蚊の鳴く)ように小さい／(驚く、手のひらに収まる、ポケットに入る、目に見えない、肉眼で見えない、形が分からない)ほど小さい

《**例文**》病人は蚊の鳴くように小さい声で話すので聞き取れない／日本では小さい家をウサギ小屋、小さい庭を猫の額に喩えることがある／山頂からマッチ箱のように小さい町並みが見える／都会では小さい車の方が便利だ／ほら、トウモロコシにちっちゃい実がびっしりついてるよ／宇宙に漂っている固体の小さい欠けらが流星となって流れる／小さい風船

《合成語》道に立ち止まり桜を眺める／山々がそそり立つ／勇み立って出発する／連れ立って出かける／子の旅立ちを見送る

たつ【建つ】［場所］に(家、ビル、マンション、建物、倉庫、小屋、記念館、テレビ塔)が建つ

《例文》空地にアパートが建つ予定だ／高原に山小屋が1軒建っている／海辺に別荘が並んで建っている／街道沿いに旅館がぽつんぽつんと建っている／工事現場の所々にプレハブが建っている

《慣用句》商売繁盛で蔵が建つ(＝大金持ちになる)

《合成語》都心には高層ビルが建ち並んでいる

たつ【発つ】❶(東京、郷里、村、住み慣れた家、現地)を発つ ❷(京都、欧州、こちら、向こう)へ発つ ❸(新幹線、特急、直行便、プロペラ機、車、夜行バス、バイク)で発つ ❹(まだ暗いうち、朝一番、夜中、夜間)に発つ

《例文》東京を発ってパリに向かう／今晩車でここを発つ予定だ／朝一番の飛行機で向こうを発ったのでもうすぐ着くだろう／家族に何も言わず外国へ発つ／発つ前に連絡してほしい／空港を発ってから4時間たつ

たつ【経つ】❶(年月、月日、時、歳月、10分、十数年、長い時間)がたつ ❷(相当、かなり、しばらく、無我夢中の間に、あっという間に、夢のように、だらだらと、何となく、無為徒食のうちに)たつ

《例文》月日がたってから親心が分かるようになった／日がたつにつれ思い出は色褪せていく／長い歳月も夢のようにたってしまった／出かけた夫が5分とたたないうちに戻って来た／入社して10年たった今、第一線に立っている／勤めてまだ2年しかたっていない／始めてまだそれほど時間はたっていない／いつまでたっても心は癒えない

たつ【断つ・絶つ・裁つ】❶(鎖、ひも、糸、テープ、紙、布、布地、着物)を断つ／裁つ ❷(筆、酒、煙草、お茶、食事、好物、髪、電源、音源)を断つ／絶つ ❸(道、収入の道、退路、逃げ道、糧道、回路、供給)を断つ／絶つ ❹(絆、関係、縁、つながり、交渉、通商、国交、交際、交わり、付き合い、接触、消息、音信、便り、連絡、希望、望み、愛、恋、深い仲、未練、執着、思い、行方、命、跡、悪の根、悪習)を断つ／絶つ

《例文》鎖が鋭利な刃物で断たれている／布をまっすぐ裁つのは難しい／先週から煙草を絶っている／大好きな酒を絶って息子の合格を祈

事に就けず困っている／学校を出たら兵役に就く／役職に就くと残業手当が出ない／寝床についたが眠れない／ずっと床についたままの病人／ITについて検討する／一人につき本が5冊まで借り出せる

《慣用句》研究はまだ緒に就いた(＝軌道に乗り始めた)ばかりだ

つく【突く・衝く・撞く・吐く・搗く】 ❶(槍、銛、刃、錐、ナイフ、針、棒、指先、角、氷柱)でつく ❷(鐘、みぞおち、背中、胸、弱点、不意、意表、背後、核心、盲点、痛いところ、責任、天、空、底)をつく ❸(吐息、ため息、息、嘘、悪態)をつく ❹(杖、ピッケル、肘、膝、手、頬杖、尻餅、判)をつく ❺(鼻、胸、頭、耳)をつく ❻(まり、ボール、羽根、米)をつく ❼(吹雪、強風、豪雨、嵐、朝靄)をついて

《例文》針で指を突いた／槍で胸を突かれた／除夜の鐘を百八つ撞く／野球で指を突いた／意表を衝いた行動／虚を衝かれて狼狽する／この批評は鋭い点を衝いている／所持金が底を突いた／雲を衝くような大男／失恋してため息をついてばかりいる／親に悪態をつく[吐く]／床に膝を突いて拝む／両手を突いて謝る／頬杖を突いて外を眺める／鼻を突く嫌なにおい／いじらしさに胸を突かれる／正月には餅をつく[搗く]／悪天候を衝いて出発する／船は朝靄を衝いて出港した

《慣用句》口を衝いて(＝次から次へと)祈りが出る

《合成語》鯨に銛を突き立てる／人を突き飛ばす／壁に突き当たる／親に盾突く／息子を小突く

つぐ【次ぐ】 ❶(父、地震、台風、米、野菜、食糧、電気製品、映画鑑賞、音楽、美術)に次いで ❷(増築、残業、前進、退却、勝利、敗北)に次ぐ(増築、残業、前進、退却、勝利、敗北) ❸(首相、社長)に次ぐ人、(東京、上海)に次ぐ都市

《例文》地震に次いで津波が起こった／衣料品に次いで食糧も輸入が急増した／絵画は音楽に次いで好きなことだ／今年も昨年に次いで水不足が深刻だ／増築に次ぐ増築で原型をとどめない／仕事に次ぐ仕事で休む暇もない／彼は大統領に次ぐ権力者だ／東京に次ぐ第二の都市

《合成語》電話を社長に取り次ぐ／相次ぐ不祥事

つぐ【注ぐ】 (酒、ウイスキー、ワイン、清酒、シャンパン、お茶、ミルク、コーヒー、みそ汁、ご飯)を(杯、コップ、グラス、茶碗、入れ物、容器)につぐ

《例文》ビールをジョッキにつぐ／酒を隣の人につぐ／コップになみなみ

込んで捕(と)る／捕虜(ほりょ)は囲いの中に追い込まれ調べを受けている／敵を窮地に追い込む／不正が明るみに出て厄介な立場に追い込まれる／ライバルを身動きのできない状況に追い込んで負かす／大差のついた試合だったが1点差に追い込まれた

《名詞》試験勉強に追い込みをかける／仕事が追い込みに入って忙しい

おいしい【美味しい】 ❶おいしい(食事、料理、食品、食材、食べ物、パン、新米(しんまい)、果物(くだもの)、飲み物、スープ、みそ汁、出汁(だし)、エキス、酒、水、お茶、デザート、ご飯、漬物(つけもの)、煮物、総菜(そうざい)、ご馳走(ちそう)、絶品、珍味、特産品、おかず、弁当、給食、煙草(たばこ)、調理法、レシピ、作り方、食べ方、お茶の入れ方、メニュー、味、香り、店、レストラン、料亭、時期、産地、空気) ❷おいしい(話、仕事、アルバイト、商売、チャンス、役、株、馬券、思い) ❸おいしく(食べる、飲む、頂(いただ)く、味わう、調理する、作る、仕上げる、味つけする、お茶を入れる、届ける、提供する、できる、炊(た)ける、焼ける、揚がる、煮える、ゆで上がる、熟(う)れる、熟(じゅく)す、育つ、見える、感じる) ❹(びっくりする、たまらない、ほっぺたが落ちる、よだれが出る、飛びつきたくなる、天にも昇る、一度口にしたら癖になる、忘れられない、病(や)み付(つ)きになる)ほどおいしい

《例文》昔の日本の朝食は、ご飯とおいしいみそ汁が定番だった／おなかがいっぱいでもおいしいデザートは別に入る／おいしい煮物を食べるとお袋の味を思い出す／最近のデパ地下では料亭なみのおいしい総菜を売っている／恋人の誕生日においしいご馳走を作ってもてなした／旅の楽しみの一つにおいしい駅弁がある／緑茶は種類によっておいしい入れ方が違う／高原の澄んだおいしい空気を胸いっぱいに吸う／松茸(まつたけ)の土瓶(どびん)蒸(む)しはほっぺたが落ちるほどおいしい秋の味覚だ／地方を旅すると忘れられないようなおいしい珍味に出くわすことがある／カラスはよく熟した実のおいしいところだけを突(つつ)いて食べるそうだ／天ぷらは冷めるとまずくなります、おいしいうちに召し上がれ／世の中それほど甘くない。おいしい話には気をつけなさい／楽(らく)して儲(もう)かるおいしい商売ほど危ない／何の気なしに買った馬券が大当たりしておいしい思いをした／おにぎりは冷たくてもおいしく食べられる／日本料理をおいしく味わうため、香辛料(こうしんりょう)の薬味は欠かせない／風味を損なわずおいしく届けるには真空パックが便利だ／太陽の恵みをいっぱい受けてトマトがおいしく育った／料理は色合いがきれいだとおいしく見える／酒には弱いが食前酒の

一口だけはおいしく感じる／果物はカレーの味をおいしくする隠し味になる／シチューは一晩寝かせるとおいしくなる／風呂上がりのビールはたまらなくおいしい／絞りたての牛乳は味が濃厚でおいしい／大勢で楽しく食べる食事はおいしい／珍味のからすみは一度食べたら癖になるほどおいしい／野菜は旬の物がおいしく、栄養価も高い／日本の懐石料理は器もきれいで目にもおいしそうだ

《合成語》食材のおいしさを引き出す／濃い味付けをおいしがる

おいだす【追い出す】（家、部屋、家庭、会社、グループ、学校、寮、組織集団、村、都）から（友、仲間、邪魔者、違反者、異端者、厄介者）を追い出す

《例文》いたずら猫を部屋から追い出す／蠅を台所から追い出すのに苦労した／牛を小屋から追い出して運動させる／仕事を怠けて職場から追い出された／厄介者を村から追い出した／大声で騒いだので寮から追い出されてしまった／暴れる酔っ払いを会場から追い出した／ここを追い出されては行くあてがない／反対の者を組織から追い出す／故郷を追い出された難民は安住の地を求めさまよっている／記憶喪失は苦しい思い出を頭から追い出そうとする自己防衛の一つだ／薬で体内から菌を追い出すことに成功する／窓を開けてガスを室内から追い出す

おいつく【追い付く・追い着く】（前の車、先に発車した電車、先発のグループ、先発隊、先進国、同点、同程度、同じレベル、同じ水準）に追いつく

《例文》先に出発した父にやっと追いついた／特急電車は次の駅で先発の電車に追いつく／ゴール寸前で後ろの走者に追いつかれてしまった／前の人に追いついたと思ったらすぐ引き離されてしまった／どう頑張っても成績では一番の人に追いつけない／努力を重ね合格の水準に追いつく／これだけの雨では水不足に追いつかない／先進国に追いつき追い越せの精神で奮闘する／試合終了直前に同点に追いついた

《慣用句》稼ぐに追いつく貧乏なし（＝常に精を出して働けば貧乏に苦しむことはない）

おいる【老いる】（親、犬、猫、樹木、心、体）が老いる

《例文》人は誰しも老いていくが、心豊かに老いたいものだ／若い命もいずれは老いて朽ち果てる運命だ／老いても子の世話にはなりたくない／文豪の作品は老いてもみずみずしさを失っていない／老いてなお人間ら